2019年４月12日

各　位

会 社 名　　株式会社市進ホールディングス
代 表 者　　代表取締役社長　下屋　俊裕
（ｺｰﾄﾞ番号4645　東証JASDAQ）
問合せ先　　執行役員統括本部副本部長　尾和　保弘
電話　047（335）2840

当社は、2019年２月期の決算において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の計上を行いましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、2018年４月16日に公表しました2019年２月期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

１．特別損失の計上について

特別損失として教室移転に伴う原状回復工事などの費用として固定資産除却損98百万円、既存の営業拠点について厳密に資産性を考慮し、収益性が悪化している拠点について減損損失113百万円を計上いたします。

２．繰延税金資産の計上について

今年度を含め最近の業績において収益が堅調に推移し、将来にわたり課税所得の発生が見込まれることから、税効果会計上の会社区分の見直しを行いました。この結果、解消が長期にわたると見込まれる将来減算一時差異に係る繰延税金資産についても回収可能性があると判断し、343百万円の法人税等調整額を計上いたしました。

３．業績予想の修正について

（１）2019年２月期の業績予想数値の修正（2018年３月１日～2019年２月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益（円）
前回発表予想（A）	16,389	318	236	200	20.18
今回修正予想（B）	16,410	405	219	309	31.25
増減額（B－A）	21	87	△16	109	
増減率（%）	0.1	27.6	△6.9	54.8	
（ご参考）前期実績	15,672	347	271	269	26.59

（２）修正の理由

2019 年２月期につきましては、市進学院の小学生の生徒数や、個別指導の個太郎塾の生徒数が好調に推移したことに加え、人材の適正配置を図るなどの経費統制が通期で計画以上に進みました。

また、上記のとおり特別損失の計上と繰延税金資産の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は 309 百万円となり、当初計画を上回る見通しです。

（注）業績予想につきましては、現時点で想定できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上